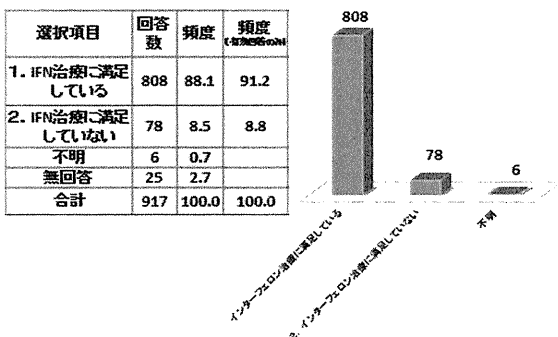


1917 人中、IFN 治療に満足している 808 人 (88.1%、91.2%)、IFN 治療に満足していない 78 人 (8.5%、8.8%)、不明 6 人 (0.7%)、無回答 25 人 (2.7%) であった。

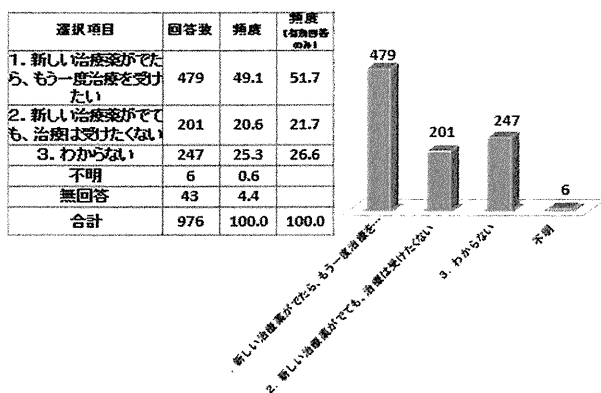
c-6 インターフェロン治療によりウイルスが削除されたと説明されている方(917人)に、インターフェロン治療についてお尋ねします



C-7 インターフェロン治療をしたが、現在もウイルスが残存していると説明されている方 (976 人) に、新しい治療薬についてお尋ねします

976 人中、新しい治療薬がでたら、もう一度治療を受けたい 479 人 (49.1%、51.7%)、新しい治療薬がでて、治療は受けたくない 201 人 (20.6%、21.7%)、わからない 247 人 (25.3%、26.6%)、不明 6 人 (0.6%)、無回答 43 人 (4.4%) であった。

c-7 インターフェロン治療をしたが、現在もウイルスが残存していると説明されている方(976人)に、新しい治療薬についてお尋ねします

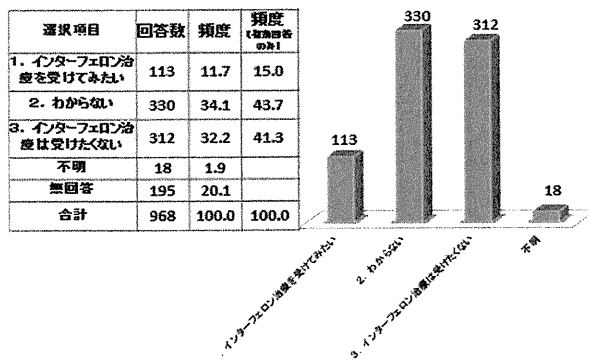


C-8 インターフェロン治療をしたことがない方 (968 人) に、今後のインターフェロン治療の希望の有無についてお尋ねします

968 人中、インターフェロン治療を受けたい 113 人 (11.7%、15.0%)、わからな

い 330 人 (34.1%、43.7%)、インターフェロン治療は受けたくない 312 人 (32.2%、41.3%)、不明 18 人 (1.9%)、無回答 195 人 (20.1%) であった。

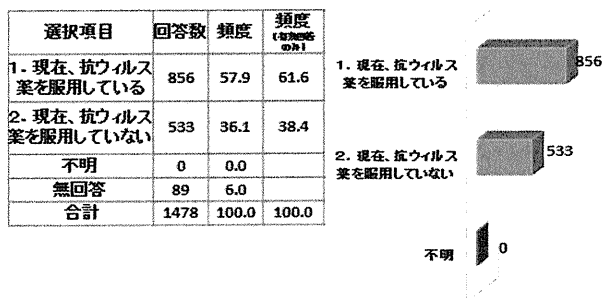
c-8 インターフェロン治療をしたことがない方(968人)に、今後のインターフェロン治療の希望の有無についてお尋ねします



C-9 B 型肝炎の方 (1,478 人) にバラクルード、ゼフィックス、ヘプセラなどの抗ウイルス薬についてお尋ねします

1,478 人中、現在、抗ウイルス薬を服用している 856 人 (57.9%、61.6%)、現在、抗ウイルス薬を服用していない 533 人 (36.1%、38.4%)、不明 0 人、無回答 89 人 (6.0%) であった。

c-9 B型肝炎の方(1478人)に、バラクルード、ゼフィックス、ヘプセラなどの抗ウイルス薬についてお尋ねします



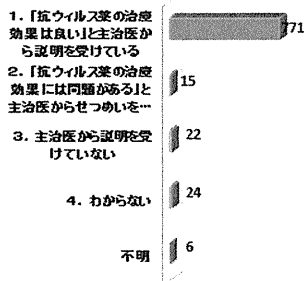
C-10 現在、抗ウイルス薬を服用している方 (856 人) に、主治医からの治療効果についての説明の有無についてお尋ねします

856 人中、「抗ウイルス薬の治療効果は良い」と主治医から説明を受けている 771 人 (90.1%、92.7%)、「抗ウイルス薬の治療効果には問題がある」と主治医から説明を受け

ている15人(1.8%、1.8%)、主治医から説明を受けていない22人(2.6%、2.6%)、わからない24人(2.8%、2.9%)、不明6人(0.7%)、無回答18人(2.1%)であった。

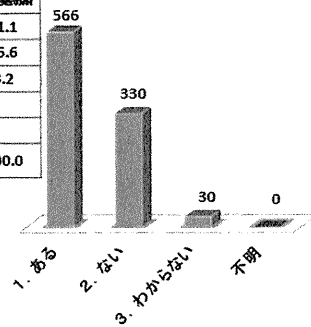
C-10 現在、抗ウイルス薬を服用している方(856人)に、主治医からの治療効果についての説明の有無についてお尋ねします

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率%)
1.「抗ウイルス薬の治療効果は良い」と主治医から説明を受けている	771	90.1	92.7
2.「抗ウイルス薬の治療効果には問題がある」と主治医から説明を受けている	15	1.8	1.8
3.主治医から説明を受けていない	22	2.6	2.6
4.わからない	24	2.8	2.9
不明	6	0.7	
無回答	18	2.1	
合計	856	100.0	100.0



D-2 食道静脈瘤に対する内視鏡(胃カメラ)治療(食道静脈瘤結紮術:EVL、食道静脈瘤硬化療法:EIS)を受けたことがありますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率%)
1. ある	566	54.3	61.1
2. ない	330	31.6	35.6
3. わからない	30	2.9	3.2
不明	0	0.0	
無回答	117	11.2	
合計	1043	100.0	100.0

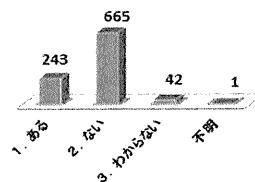


D-3 肝硬変が原因でお腹に水(腹水)が溜まっていると言われた事がありますか

1,043人中、ある243人(23.3%、25.6%)、ない665人(63.8%、70.0%)、わからない42人(4.0%、4.4%)、不明1人(0.1%)、無回答92人(8.8%)であった。

D-3 肝硬変が原因でお腹に水(腹水)が溜まっていると言われた事がありますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率%)
1. ある	243	23.3	25.6
2. ない	665	63.8	70.0
3. わからない	42	4.0	4.4
不明	1	0.1	
無回答	92	8.8	
合計	1043	100.0	100.0



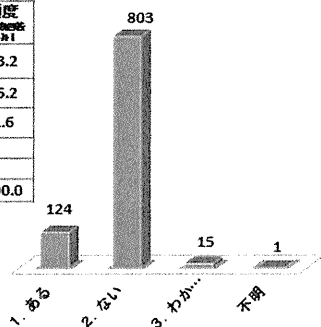
#### D. 肝硬変患者を対象とした質問

D-1 吐血したことがありますか(肝硬変と診断された方=1,043人にお尋ねしています)

1,043人中、ある124人(11.9%、13.2%)、ない803人(77.0%、85.2%)、わからない15人(1.4%、1.6%)、不明1人(0.1%)、無回答100人(9.6%)であった。

D-1 吐血したことがありますか(肝硬変と診断された方=1043人にお尋ねしています)

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率%)
1. ある	124	11.9	13.2
2. ない	803	77.0	85.2
3. わからない	15	1.4	1.6
不明	1	0.1	
無回答	100	9.6	
合計	1043	100.0	100.0



D-2 食道動脈瘤に対する内視鏡(胃カメラ)治療(食道静脈瘤結紮術:EVL、食道静脈瘤硬化療法:EIS)を受けたことがありますか

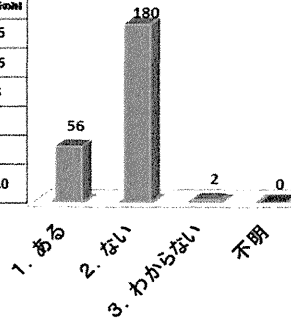
1,043人中、ある566人(54.3%、61.1%)、ない330人(31.6%、35.6%)、わからない30人(2.9%、3.2%)、不明0人、無回答117人(11.2%)であった。

D-4 お腹に水(腹水)が溜まっていると言われたことがある方(243人)にお尋ねします。治療としてお腹の水(腹水)を針を刺して抜き取った経験をお持ちですか

243人中、ある56人(23.0%、23.5%)、ない180人(73.8%、75.6%)、わからない1人(0.8%、0.8%)、不明0人、無回答6人(2.5%)であった。

D-4 お腹に水(腹水)が溜まっていると言われたことがある方(243人)にお尋ねします。治療としてお腹の水(腹水)を針を刺して抜き取った経験をお持ちですか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率のみ)
1. ある	56	23.0	23.5
2. ない	180	73.8	75.6
3. わからない	1	0.8	0.8
不明	0	0.0	
無回答	6	2.5	
合計	243	100.0	100.0

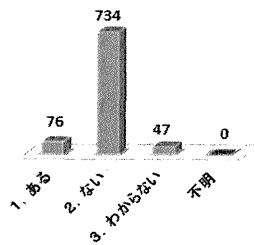


D-5 肝性脳症(肝臓の状態が良くないことが原因で脳の機能が一時的に低下した状態)で、意識をなくしたことがありますか

1,043人中、ある76人(7.3%、8.9%)、ない734人(70.4%、85.6%)、わからない47人(4.5%、5.5%)、不明0人、無回答186人(17.8%)であった。

D-5 肝性脳症(肝臓の状態が良くないことが原因で脳の機能が一時的に低下した状態)で、意識をなくしたことがありますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率のみ)
1. ある	76	7.3	8.9
2. ない	734	70.4	85.6
3. わからない	47	4.5	5.5
不明	0	0.0	
無回答	186	17.8	
合計	1043	100.0	100.0

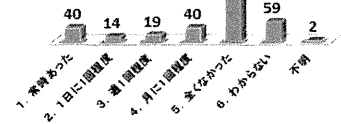


D-6 足元がふらついて一人で歩くことが出来ないことや、人からの介助がないと歩くことが出来ないことが、この1ヶ月間にどの程度ありましたか(肝硬変と診断された方=1,043人にお尋ねしています)

1,043人中、常時あった40人(3.8%、4.5%)、1日に1回程度14人(1.3%、1.6%)、週に1回程度19人(1.8%、2.2%)、月に1回程度40人(3.8%、4.5%)、全くなかった711人(68.2%、80.5%)、わからない59人(5.7%、6.7%)、不明2人(0.2%)、無回答158人(15.1%)であった。

D-6 足元がふらついて一人で歩くことが出来ないことや、人からの介助がないと歩くことが出来ないことが、この1ヶ月間にどの程度ありましたか(肝硬変と診断された方=1,043人にお尋ねしています)

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率のみ)
1. 常時あった	40	3.8	4.5
2. 1日に1回程度	14	1.3	1.6
3. 週1回程度	19	1.8	2.2
4. 月に1回程度	40	3.8	4.5
5. 全くなかった	711	68.2	80.5
6. わからない	59	5.7	6.7
不明	2	0.2	
無回答	158	15.1	
合計	1043	100.0	100.0

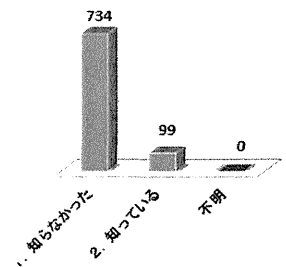


D-7 腹水・黄疸などの身体症状を伴う肝硬変の患者さんや、肝移植を受けられた患者さんでは、一定の条件の下、平成22年4月から身体障害者手帳の交付を受けられるようになっていますが、このことをご存知ですか

1,043人中、知らなかった734人(70.4%、88.1%)、知っている99人(9.5%、11.9%)、不明0人、無回答210人(20.1%)であった。

D-7 腹水・黄疸などの身体症状を伴う肝硬変の患者さんや、肝移植を受けられた患者さんでは、平成22年4月から身体障害者手帳の交付を受けられるようになっていますが、このことをご存知ですか

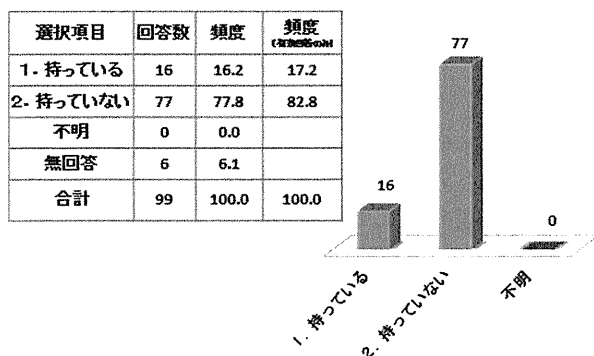
選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答率のみ)
1. 知らなかった	734	70.4	88.1
2. 知っている	99	9.5	11.9
不明	0	0.0	
無回答	210	20.1	
合計	1043	100.0	100.0



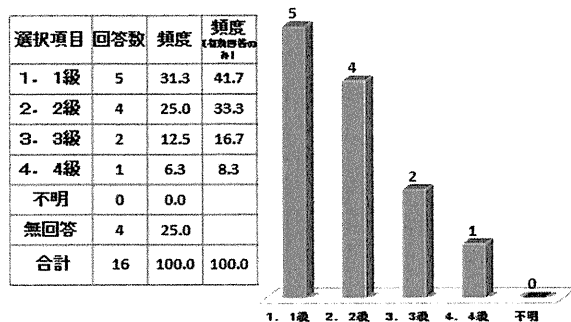
D-8 肝臓病患者さんの身体障害者手帳の交付について知っている方(99人)にお尋ねします。現在、肝機能障害による身体障害者手帳をお持ちですか

99人中、持っている16人(16.2%、17.2%)、持っていない77人(77.8%、82.8%)、不明0人、無回答6人(6.1%)であった。

D-8 肝臓病患者さんの身体障害者手帳の交付について知っている方(99人)にお尋ねします。現在、肝機能障害による身体障害者手帳をおもちですか



D-10 肝機能障害による身体障害者手帳をお持ちの方(16人)にお尋ねします。身体障害者手帳に記載されている等級をお答え下さい



D-9 現在、肝機能障害による身体障害者手帳を持っていない方(77人)にお尋ねします。その理由を教えてください

77人中、1.申請したが、非該当だった11人(14.3%、19.3%)、2.申請しようとしたが、医師から無理だと説明されたため断念した16人(20.8%、28.1%)、2.以外の理由により申請しなかった30人(39.0%、52.6%)、申請中0人、不明0人、無回答20人(26.0%)であった。

D-9 現在、肝機能障害による身体障害者手帳を持っていない方(77人)にお尋ねします。その理由をお答え下さい

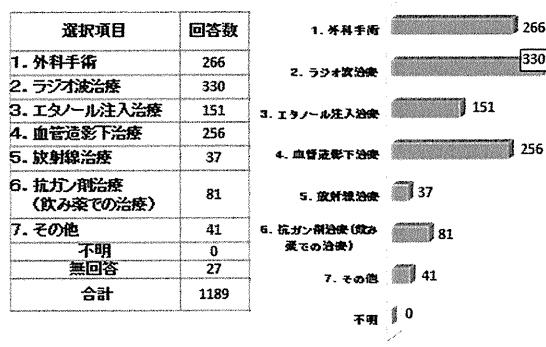


E. 肝臓患者を対象とした質問

E-1 今まで受けた肝臓の治療法について、あてはまる番号全てに○をつけてください  
(肝臓と診断された方=643人にお尋ねしています)

回答合計 1,189 中、外科手術 266 人、ラジオ波治療 330 人、エタノール注入治療 151 人、血管造影下治療 256 人、放射線治療 37 人、抗ガン剤治療(飲み薬での治療) 81 人、その他 41 人、不明 0 人、無回答 27 人であった。

E-1 今まで受けた肝臓の治療法について、あてはまる番号全てに○をつけて下さい。  
(肝臓と診断された方=643人にお尋ねしています)



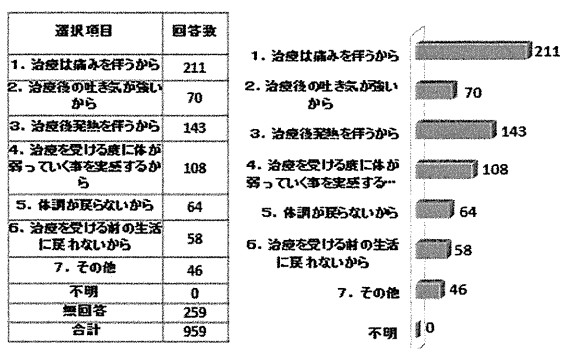
D-10 肝機能障害による身体障害者手帳をお持ちの方(16人)にお尋ねします。身体障害者手帳に記載されている等級をお答えください

16人中、1級5人(31.3%、41.7%)、2級4人(25.0%、33.3%)、3級2人(12.5%、16.7%)、4級1人(6.3%、8.3%)、不明0人、無回答4人(25.0%)であった。

E-2 肝臓の治療を受けて嫌だと思った理由について、あてはまる番号全てに○をつけてください

回答合計 959 中、治療は痛みを伴うから 211 人、治療後の吐き気が強いから 70 人、治療後発熱を伴うから 143 人、治療を受ける度に体が弱っていく事を実感するから 108 人、体調が戻らないから 64 人、治療を受ける前の生活に戻れないから 58 人、その他 46 人、不明 0 人、無回答 259 人であった。

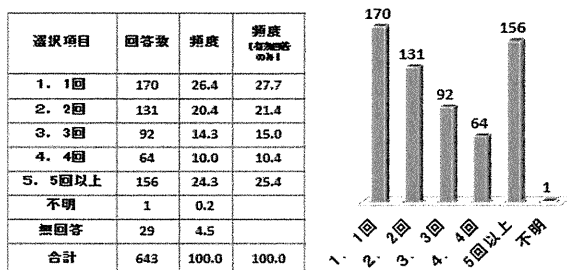
E-2 肝臓の治療を受けて嫌だと思った理由について、あてはまる番号全てに○をつけて下さい



E-3 肝臓治療の為に今までに入院した回数は、およそ何回ですか

643人中、1回170人(26.4%、27.7%)、2回131人(20.4%、21.4%)、3回92人(14.3%、15.0%)、4回64人(10.0%、10.4%)、5回以上156人(24.3%、25.4%)、不明1人(0.2%)、無回答29人(4.5%)であった。

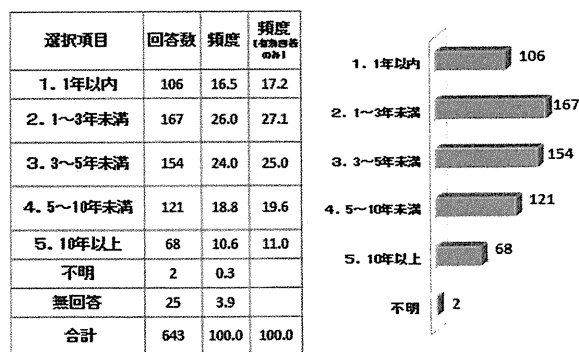
E-3 肝臓治療の為に今までに入院した回数も、およそ何回ですか



E-4 肝臓と診断されてから何年が経過しましたか

643人中、1年以内106人(16.5%、17.2%)、1~3年未満167人(26.0%、27.1%)、3~5年未満154人(24.0%、25.0%)、5~10年未満121人(18.8%、19.6%)、10年以上68人(10.6%、11.0%)、不明2人(0.3%)、無回答25人(3.9%)であった。

E-4 肝臓と診断されてから何年が経過しましたか

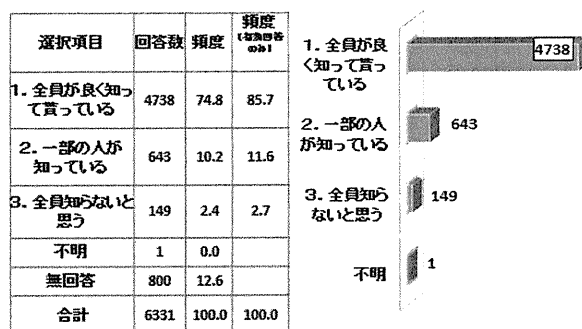


F. 日常生活、仕事に関する質問

F-1 同居している方々は、あなたが肝臓病であることをご存知ですか

6,331人中、全員が良く知って貰っている4,738人(74.8%、85.7%)、一部の人が知っている643人(10.2%、11.6%)、全員知らないと思う149人(2.4%、2.7%)、不明1人、無回答800人(12.6%)であった。

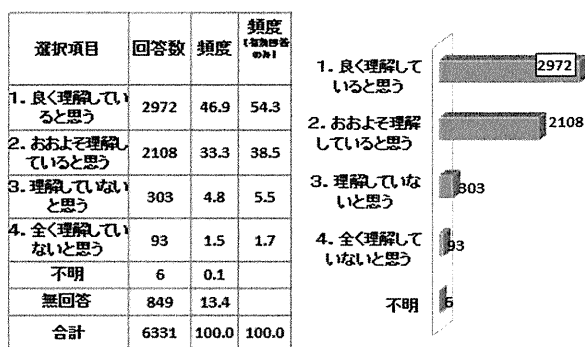
F-1 同居している方々は、あなたが肝臓病であることをご存知ですか



F-2 同居している方々は、あなたの肝臓病に理解を示していますか

6,331人中、よく理解していると思う2,972人(46.9%、54.3%)、おおよそ理解していると思う2,108人(33.3%、38.5%)、理解していないと思う303人(4.8%、5.5%)、全く理解していないと思う93人(1.5%、1.7%)、不明6人(0.1%)、無回答849人(13.4%)であった。

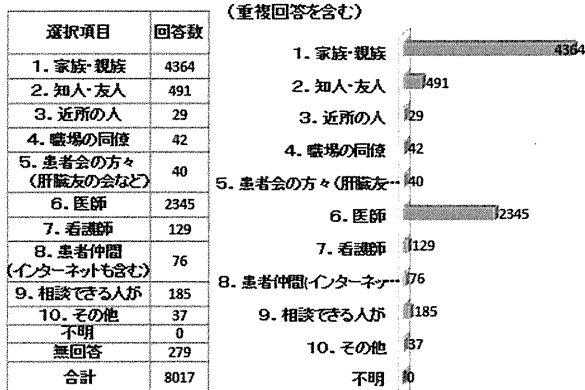
F-2 同居している方々は、あなたの肝臓病に理解を示していますか



F-3 病気のことで、あなたが最も気軽に相談できる方はどなたですか(重複回答を含む)

回答合計 8,017 中、家族・親族 4,364 人、知人・友人 491 人、近所の人 29 人、職場の同僚 42 人、患者会の方々(肝臓友の会など) 40 人、医師 2,345 人、看護師 129 人、患者仲間(インターネットも含む) 76 人、相談できる人がいない 185 人、その他 37 人、不明 0 人、無回答 279 人であった。

F-3 病気のことで、あなたが最も気軽に相談できる方はどなたですか(重複回答を含む)

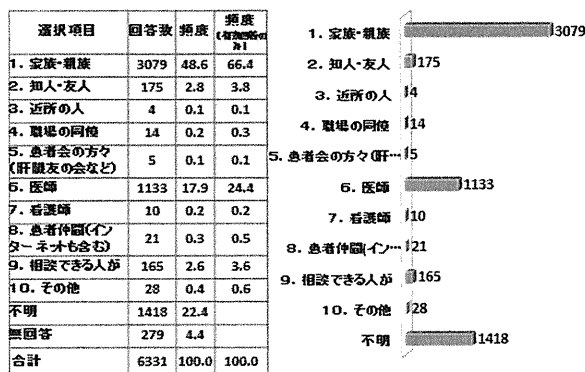


F-3-S 病気のことで、あなたが最も気軽に相談できる方はどなたですか(重複回答を不明回答とした場合)

6,331 人中、家族・親族 3,079 人(48.6%、66.4%)、知人・友人 175 人(2.8%、3.8%)、近所の人 4 人(0.1%、0.1%)、職場の同僚 14 人(0.2%、0.3%)、患者会の方々(肝臓友の会など) 5 人(0.1%、0.1%)、医師 1,133 人(17.9%、24.4%)、看護師 10 人(0.2%、0.2%)、患者仲間(インターネットも含む)

21 人(0.3%、0.5%)、相談できる人がいない 165 人(2.6%、3.6%)、その他 28 人(0.4%、0.6%)、不明 1,418 人(22.4%)、無回答 279 人(4.4%) であった。

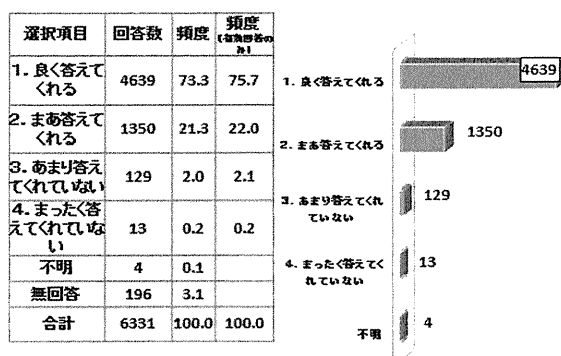
F-3-S 病気のことで、あなたが最も気軽に相談できる方はどなたですか(重複分を不明回答とした場合)



F-4 あなたの主治医は、あなたの質問に親切に答えてくれますか

6,331 人中、良く答えてくれる 4,639 人(73.3%、75.7%)、まあ答えてくれる 1,350 人(21.3%、22.0%)、あまり答えてくれない 129 人(2.0%、2.1%)、まったく答えてくれない 13 人(0.2%、0.2%)、不明 4 人(0.1%)、無回答 196 人(3.1%) であった。

F-4 あなたの主治医は、あなたの質問に親切に答えてくれますか



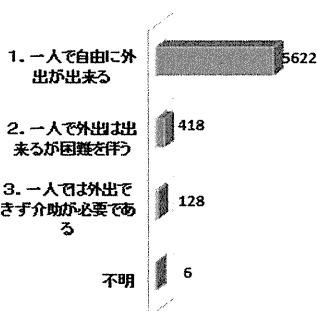
F-5 あなたの日常の生活状況について教えてください

6,331 人中、一人で自由に外出ができる 5,622 人(88.8%、91.1%)、一人で外出は出来るが困難を伴う 418 人(6.6%、6.8%)、一人では外出できず介助が必要である 128

人 (2.0%、2.1%)、不明 6 人 (0.6%)、無回答 157 人 (2.5%) であった。

F-5 あなたの日常生活状況について教えてください

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答の%)
1.一人で自由に外出が出来る	5622	88.8	91.1
2.一人で外出出来るが困難を伴う	418	6.6	6.8
3.一人で外出できず介助が必要である	128	2.0	2.1
不明	6	0.1	
無回答	157	2.5	
合計	6331	100.0	100.0

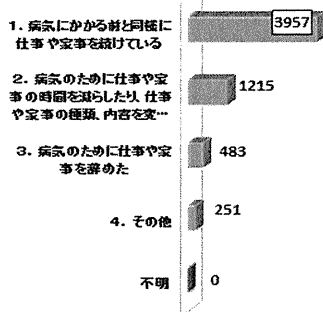


F-6 病気が、仕事や家事に与えた影響の度合いについてお聞かせください

6,331 人中、病気にかかる前と同様に仕事や家事を続けている 3,957 人 (62.5%、67.0%)、病気の為に仕事や家事の時間を減らしたり、仕事や家事の種類、内容を変更したりした 1,215 人 (19.2%、20.6%)、病気の為に仕事や家事を辞めた 483 人 (7.6%、8.2%)、その他 251 人 (4.0%、4.2%)、不明 0 人、無回答 425 人 (6.7%) であった。

F-6 病気が、仕事や家事に与えた影響の度合いについてお聞かせ下さい

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答の%)
1. 病気にかかる前と同様に仕事や家事を続けている	3957	62.5	67.0
2. 病気のために仕事や家事の時間を減らしたり、仕事や家事の種類、内容を変更したりした。	1215	19.2	20.6
3. 病気のために仕事や家事を辞めた	483	7.6	8.2
4. その他	251	4.0	4.2
不明	0	0.0	
無回答	425	6.7	
合計	6331	100.0	100.0

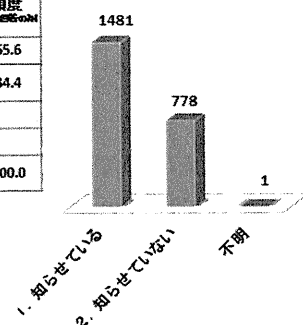


F-7 仕事をお持ちの方にお尋ねします。職場の方々には、あなたの病気の事を知らせていますか

2,781 人中、知らせている 1,481 人 (53.3%、65.6%)、知らせていない 778 人 (28.0%、34.4%)、不明 1 人、無回答 521 人 (18.7%) であった。

F-7 仕事をお持ちの方にお尋ねします。職場の方々には、あなたの病気の事を知らせていますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答の%)
1. 知らせている	1481	53.3	65.6
2. 知らせていない	778	28.0	34.4
不明	1	0.0	
無回答	521	18.7	
合計	2781	100.0	100.0

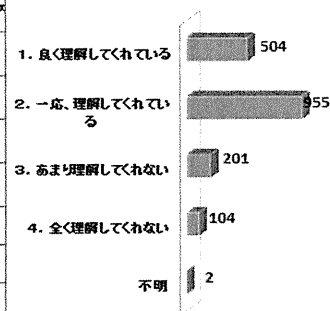


F-8 仕事をお持ちの方にお尋ねします。職場の方々には、あなたの病気に理解を示してくれていますか

2,781 人中、良く理解してくれている 504 人 (18.1%、28.6%)、一応理解してくれている 955 人 (34.3%、54.1%)、あまり理解してくれない 201 人 (7.2%、11.4%)、全く理解してくれない 104 人 (3.7%、5.9%)、不明 2 人 (0.1%)、無回答 1,015 人 (36.5%) であった。

F-8 仕事をお持ちの方にお尋ねします。職場の方々には、あなたの病気に理解を示してくれていますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答の%)
1. 良く理解してくれている	504	18.1	28.6
2. 一応、理解してくれている	955	34.3	54.1
3. あまり理解してくれない	201	7.2	11.4
4. 全く理解してくれない	104	3.7	5.9
不明	2	0.1	
無回答	1015	36.5	
合計	2781	100.0	100.0

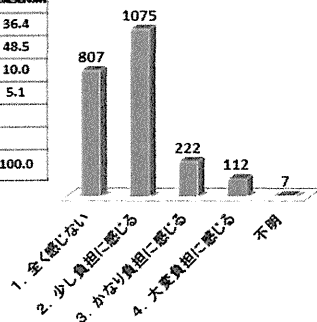


F-9 仕事をお持ちの方にお尋ねします。仕事をしながらの肝臓病治療は負担に感じますか

2,781 人中、全く感じない 807 人 (29.0%、36.4%)、少し負担に感じる 1,075 人 (38.7%、48.5%)、かなり負担に感じる 222 人 (8.0%、10.0%)、大変負担に感じる 112 人 (4.0%、5.1%)、不明 7 人 (0.3%)、無回答 558 人 (20.1%) であった。

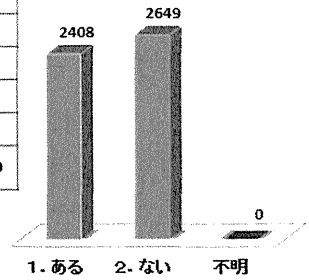
F-9 仕事をお持ちの方にお尋ねします。仕事をしながらの肝臓病治療は負担に感じますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答の%)
1. 全く感じない	807	29.0	36.4
2. 少し負担に感じる	1075	38.7	48.5
3. かなり負担に感じる	222	8.0	10.0
4. 大変負担に感じる	112	4.0	5.1
不明	7	0.3	
無回答	558	20.1	
合計	2781	100.0	100.0



F-11 日常生活で、肝臓病を患っていることによる悩みやストレスはありますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答の%)
1. ある	2408	38.0	47.6
2. ない	2649	41.8	52.4
不明	0	0.0	
無回答	1274	20.1	
合計	6331	100.0	100.0

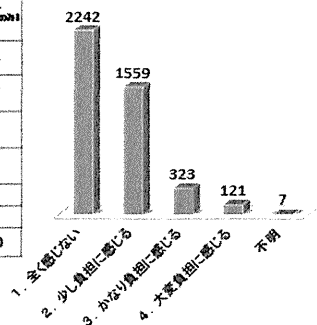


F-10 家事をしながらの肝臓病治療は負担に感じますか

6,331人中、全く感じない2,242人(35.4%、52.8%)、少し負担に感じる1,559人(24.6%、36.7%)、かなり負担に感じる323人(5.1%、7.6%)、大変負担に感じる121人(1.9%、2.9%)、不明7人(0.1%)、無回答2,079人(32.8%)であった。

F-10 家事をしながらの肝臓病治療は負担に感じますか

選択項目	回答数	頻度	頻度 (有効回答の%)
1. 全く感じない	2242	35.4	52.8
2. 少し負担に感じる	1559	24.6	36.7
3. かなり負担に感じる	323	5.1	7.6
4. 大変負担に感じる	121	1.9	2.9
不明	7	0.1	
無回答	2079	32.8	
合計	6331	100.0	100.0



F-12 悩みやストレスの原因について、下表であてはまる番号すべてに○を付けてください。また、その中でも最も気になる原因の番号を表下の番号記入欄に記入してください

回答合計6,572中、家族との人間関係431人、家族以外との人間関係497人、恋愛・性に関すること215人、結婚128人、離婚32人、いじめ、セクシャル・ハラスメント38人、生甲斐に関すること590人、自由にできる時間の不足304人、収入・家計・借金等758人、自分の病気や介護1,032人、家族の病気や介護403人、妊娠・出産104人、育児55人、家事341人、自分の学業・受験・進学12人、子供の教育80人、自分の仕事673人、家族の仕事132人、住まいや生活環境279人、その他219人、わからない42人、不明1人、無回答206人であった。

F-12 悩みやストレスの原因について、下表であてはまる番号すべてに○を付けてください。また、その中で最も気になる原因の番号を表下の番号記入欄に記入してください

選択項目	回答数
1. 家族との人間関係	431
2. 家族以外との人間関係	497
3. 恋愛・性に関すること	215
4. 結婚	128
5. 離婚	32
6. いじめ、セクシャル・ハラスメント	38
7. 生をがいに關すること	590
8. 自由に出来る時間の不足	304
9. 収入・家計・借金等	758
10. 自分の病気や介護	1032
11. 家族の病気や介護	403
12. 妊娠・出産	104
13. 育児	55
14. 家事	341
15. 自分の学業・受験・進学	12
16. 子供の教育	80
17. 自分の仕事	673
18. 家族の仕事	132
19. 住まいや生活環境	279
20. その他	219
21. わからない	42
不明	1
無回答	206
合計	6572

1. 家族との人間関係	431
2. 家族以外との人間関係	497
3. 恋愛・性に関すること	215
4. 結婚	128
5. 離婚	32
6. いじめ、セクシャル・ハラスメント	38
7. 生をがいに關すること	590
8. 自由に出来る時間の不足	304
9. 収入・家計・借金等	758
10. 自分の病気や介護	1032
11. 家族の病気や介護	403
12. 妊娠・出産	104
13. 育児	55
14. 家事	341
15. 自分の学業・受験・進学	12
16. 子供の教育	80
17. 自分の仕事	673
18. 家族の仕事	132
19. 住まいや生活環境	279
20. その他	219
21. わからない	42
不明	1



F-12 最も気になる原因の番号記入欄

2,408 人中、家族との人間関係 87 人、家族以外との人間関係 69 人、恋愛・性に関すること 36 人、結婚 20 人、離婚 4 人、いじめ、セクシャル・ハラスメント 8 人、生甲斐に関すること 132 人、自由にできる時間の不足 37 人、収入・家計・借金等 248 人、自分の病気や介護 412 人、家族の病気や介護 101 人、妊娠・出産 31 人、育児 10 人、家事 41 人、自分の学業・受験・進学 1 人、子供の教育 8 人、自分の仕事 137 人、家族の仕事 7 人、住まいや生活環境 20 人、その他 119 人、わからない 13 人、不明 49 人、無回答 818 人であった。

F-12 最も気になる原因の番号記入欄

選択項目	回答数
1. 家族との人間関係	87
2. 家族以外との人間関係	69
3. 恋愛・性に関すること	36
4. 結婚	20
5. 離婚	4
6. いじめ、セクシャル・ハラスメント	8
7. 生甲斐に関すること	132
8. 自由にできる時間の不足	37
9. 収入・家計・借金等	248
10. 自分の病気や介護	412
11. 家族の病気や介護	101
12. 妊娠・出産	31
13. 育児	10
14. 家事	41
15. 自分の学業・受験・進学	1
16. 子供の教育	8
17. 自分の仕事	137
18. 家族の仕事	7
19. 住まいや生活環境	20
20. その他	119
21. わからない	13
不明	49
無回答	818
合計	2408

F-13 悩みやストレスの相談状況について、下表であてはまる番号すべてに○を付けてください。また、質問 F-12 の最も気になる原因についての相談の場合あてはまる番号のうち、主なものを 2 つまで表下の番号記入欄に記入してください。

3,892 人中、1.家族に相談している 1,248 人、2.友人・知人に相談している 412 人、3.職場の上司、学校の先生に相談している 32 人、4.保健所・福祉事務所などの公的機関の相談窓口を利用している（電話・インターネット等での相談含む）83 人、5.患者会の電話相談を利用している 17 人、6.病院・診療所の医師に相談している 792 人、7.病院・診療所の看護師に相談している 119 人、8.患者同士でインターネットを利用して相談している 24 人、9.1~8 以外で相談している 23 人、10.相談したいが誰にも相談できないでいる 327 人、11.相談したいが相談先がわからない 247 人、12.相談する必要がない 167 人、不明 0 人、無回答 401 人であった。

人、10.相談したいが誰にも相談できないでいる 327 人、11.相談したいが相談先がわからない 247 人、12.相談する必要がない 167 人、不明 0 人、無回答 401 人であった。

F-13 悩みやストレスの相談状況について、下表であてはまる番号すべてに○を付けてください。また、質問 F-12 の最も気になる原因についての相談の場合あてはまる番号のうち、主なものを 2 つまで表下の番号記入欄に記入してください

選択項目	回答数
1. 家族に相談している	1248
2. 友人・知人に相談している	412
3. 職場の上司、学校の先生に相談している	32
4. 保健所・福祉事務所などの公的機関の相談窓口を利用している（電話・インターネット等での相談含む）	83
5. 患者会の電話相談を利用している	17
6. 病院・診療所の医師に相談している	792
7. 病院・診療所の看護師に相談している	119
8. 患者同士でインターネットを利用して相談している	24
9. 01~08以外で相談している（職場の相談窓口等）	23
10. 相談したいが誰にも相談できないでいる	327
11. 相談したいが相談先がわからない	247
12. 相談する必要がない	167
不明	0
無回答	401
合計	3892

F-13 最も気になる原因の相談状況の番号記入欄

3,291 人中、1.家族に相談している 796 人、2.友人・知人に相談している 225 人、3.職場の上司、学校の先生に相談している 25 人、4.保健所・福祉事務所などの公的機関の相談窓口を利用している（電話・インターネット等での相談含む）53 人、5.患者会の電話相談を利用している 8 人、6.病院・診療所の医師に相談している 537 人、7.病院・診療所の看護師に相談している 56 人、8.患者同士でインターネットを利用して相談している 15 人、9.1~8 以外で相談している 37 人、10.相談したいが誰にも相談できないでいる 251 人、11.相談したいが相談先がわからない 184 人、12.相談する必要がない 72 人、不明 1 人、無回答 1,031 人であった。

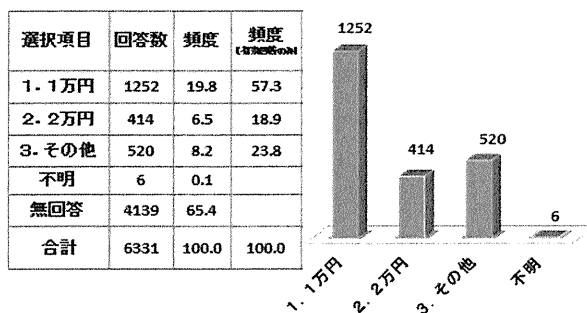
F-13 最も気になる原因の相談状況の番号記入欄

選択項目	回答数
1. 家族に相談している	796
2. 友人・知人に相談している	225
3. 職場の上司、学校の先生に相談している	25
4. 保健所・福祉事務所などの公的機関の相談窓口を利用している（電話・インターネット等での相談含む）	53
5. 患者会の電話相談を利用している	8
6. 病院・診療所の医師に相談している	537
7. 病院・診療所の看護師に相談している	56
8. 患者同士でインターネットを利用して相談している	15
9. 01~08以外で相談している（職場の相談窓口等）	37
10. 相談したいが誰にも相談できないでいる	251
11. 相談したいが相談先がわからない	184
12. 相談する必要がない	72
不明	1
無回答	1031
合計	3291

F-14 肝炎の助成制度（インターフェロン治療ないしB型肝炎抗ウイルス薬（核酸アナログ製剤治療）を受けたことがありますか。受けたことがある方は、1～3に○を付け、1ヶ月あたりの自己負担額の上限額を教えてください

6,331人中、1万円 1,252人（19.8%、57.3%）、2万円 414人（6.5%、18.9%）、その他 520人（8.2%、23.8%）、不明 6人（0.1%）、無回答 4,139人（65.4%）であった。

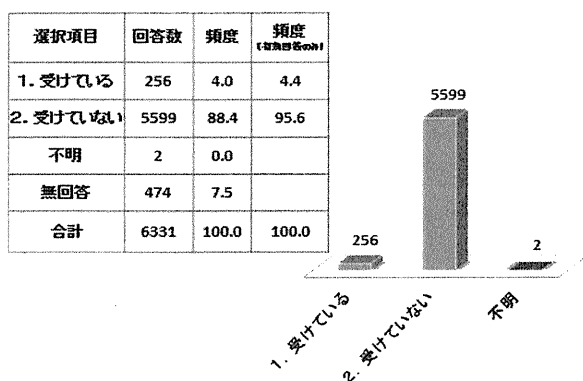
F-14 肝炎の助成制度(インターフェロン治療ないしB型肝炎抗ウイルス薬(核酸アナログ製剤治療))を受けたことがありますか。受けたことがある方は、1～3に○を付け、1ヶ月あたりの自己負担額の上限額を教えてください



F-15 生活保護は受けていますか

6,331人中、受けている 256人（4.0%、4.4%）、受けていない 5,599人（88.4%、95.6%）、不明 2人、無回答 474人（7.5%）であった。

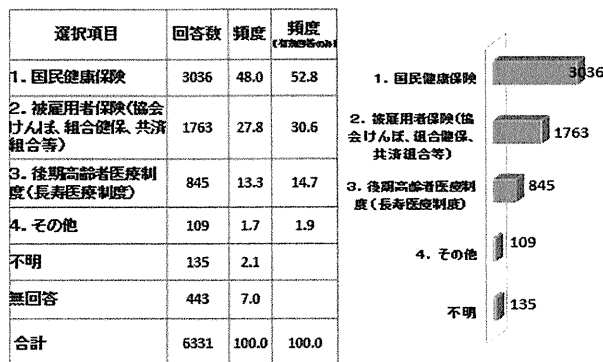
F-15 生活保護は受けていますか



F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか

6,331人中、国民健康保険 3,036人（48.0%、52.8%）、被雇用者保険（協会けんぽ、組合保険、共済組合等）1,763人（27.8%、30.6%）、後期高齢者医療制度（長寿医療制度）845人（13.3%、14.7%）、その他 109人（1.7%、1.9%）、不明 135人（2.1%）、無回答 443人（7.0%）であった。

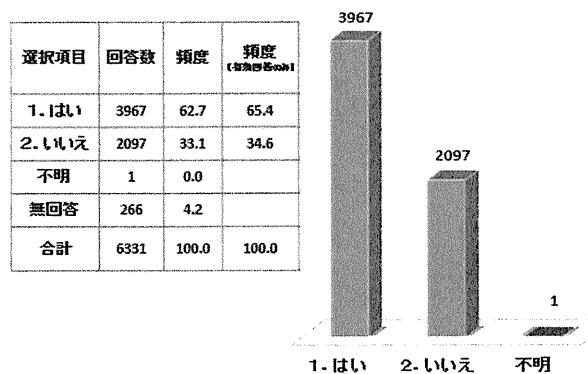
F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか



F-17 年金を受給されていますか

6,331人中、はい 3,967人（62.7%、65.4%）、いいえ 2,097人（33.1%、34.6%）、不明 1人、無回答 266人（4.2%）であった。

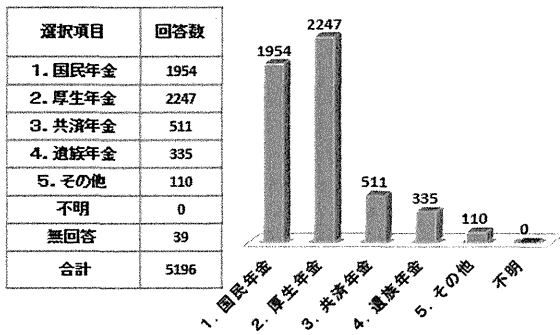
F-17 年金を受給されていますか



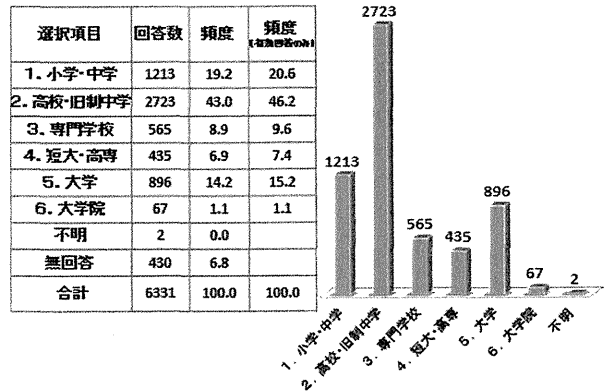
F-18 年金を受給されている方にお尋ねします。年金の種類について、あてはまる番号すべてに○を付けてください

5,196人中、国民年金 1,954人、厚生年金 2,247人、共済年金 511人、遺族年金 335人、その他 110人、不明 0人、無回答 39人であった。

F-18 年金を受給されている方にお尋ねします。年金の種類について、あてはまる番号すべてに○をつけてください



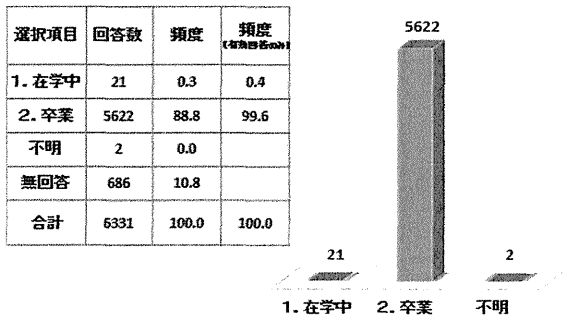
F-19-II 「在学中」の方はその学校について、「卒業」された方は最終卒業学校について、それぞれ○をつけてください



F-19-I あなたが受けた教育の状況について教えてください。「在学中」の方はその学校について、「卒業」された方は最終卒業学校について、それぞれ○をつけてください

6,331人中、在学中 21人 (0.3%、0.4%)、卒業 5,622人 (88.8%、99.6%)、不明 2人、無回答 686人 (10.8%) であった。

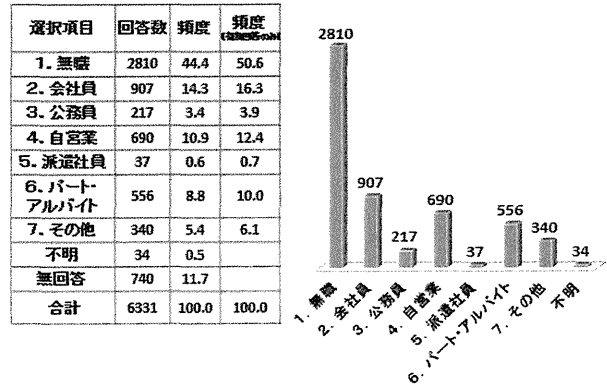
F-19-I あなたが受けた教育の状況について教えてください。「在学中」の方はその学校について、「卒業」された方は最終卒業学校について、それぞれ○をつけてください



F-20 あなたの仕事内容について教えてください

6,331人中、無職 2,810人 (44.4%、50.6%)、会社員 907人 (14.3%、16.3%)、公務員 217人 (3.4%、3.9%)、自営業 690人 (10.9%、12.4%)、派遣社員 37人 (0.6%、0.7%)、パート・アルバイト 556人 (8.8%、10.0%)、その他 340人 (5.4%、6.1%)、不明 34人 (0.5%)、無回答 740人 (11.7%) であった。

F-20 あなたの仕事内容について教えてください



F-19-II 「在学中」の方はその学校について、「卒業」された方は最終卒業学校について、それぞれ○をつけてください

6,331人中、小学・中学 1,213人 (19.2%、20.6%)、高校・旧制中学 2,723人 (43.0%、46.2%)、専門学校 565人 (8.9%、9.6%)、短大・高専 435人 (6.9%、7.4%)、大学 896人 (14.2%、15.2%)、大学院 67人 (1.1%、1.1%)、不明 2人、無回答 430人 (6.8%) であった。

F-21 現在、会社員・公務員の方は、現時点までの合計の勤続年数を教えてください

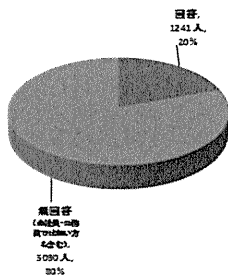
回答数 1,241人 (20.0%)、平均勤続年数は 27.3年、無回答 5,090人 (80.0%) であった。

F-22 現在は退職し、かつて会社員・公務員だった方は、過去の合計の勤続年数を教えてください

回答数 2,334人 (37.0%)、過去の合計の平均勤続年数は 30.1年、無回答 3,997人 (63.0%) であった。

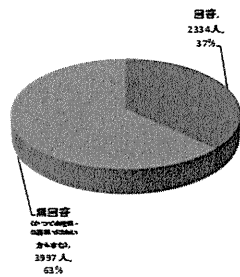
F-21 現在、会社員・公務員の方は、現時点までの合計の勤続年数を教えてください

回答数 1241人  
平均勤続年数 27.3年



F-22 現在は退職し、かつて会社員・公務員だった方は、過去の合計の勤続年数を教えてください

回答数 2334人  
過去の合計の平均勤続年数 30.1年



## G. 肝炎対策、自由記述

G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選び、番号に○を付けてください

回答合計 14,993 中、肝炎患者(肝硬変・肝癌患者を含む)の医療費・生活支援 3,999 人、肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可 4,074 人、肝炎相談窓口の充実 1,257 人、ウイルス検査の受診率向上 1,403 人、患者に対しての市町村などの保健指導 553 人、専門医療機関とかかりつけ医との連携 1,989 人、その他 102 人、不明 1 人、無回答 1,615 人であった。

G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選入番号に○を付けてください

選択項目	回答数
1. 肝炎患者(肝硬変・肝がん患者を含む)の医療費・生活支援	3999
2. 肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可	4074
3. 肝炎相談窓口の充実	1257
4. ウイルス検査の受診率向上	1403
5. 患者に対しての市町村などの保健指導	553
6. 専門医療機関とかかりつけ医との連携	1989
7. その他	102
不明	1
無回答	1615
合計	14993

G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選び、重要と思う順に1~3位の番号を記入して下さい(第1位)

6,331 人中、肝炎患者(肝硬変・肝癌患者を含む)の医療費・生活支援 2,903 人(45.9%、53.4%)、肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可 1,817 人(28.7%、33.4%)、肝炎相談窓口の充実 112 人(1.8%、2.1%)、ウイルス検査の受診率向上 289 人(4.6%、5.3%)、患者に対しての市町村などの保健指導 47 人(0.7%、0.9%)、専門医療機関とかかりつけ医との連携 243 人(3.8%、4.5%)、その他 30 人(0.5%、0.6%)、不明 4 人(0.1%)、無回答 886 人(14.0%)であった。

G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選入 重要と思う順に1~3位の番号を記入して下さい 第1位

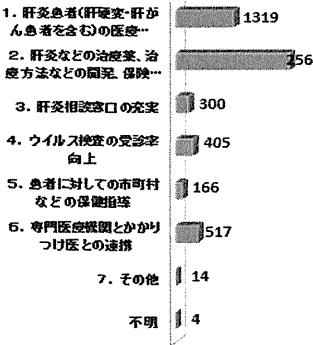
選択項目	回答数	割合	順位(有効回答のみ)
1. 肝炎患者(肝硬変・肝がん患者を含む)の医療費・生活支援	2903	45.9	53.4
2. 肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可	1817	28.7	33.4
3. 肝炎相談窓口の充実	112	1.8	2.1
4. ウイルス検査の受診率向上	289	4.6	5.3
5. 患者に対しての市町村などの保健指導	47	0.7	0.9
6. 専門医療機関とかかりつけ医との連携	243	3.8	4.5
7. その他	30	0.5	0.6
不明	4	0.1	
無回答	886	14.0	
合計	6331	100.0	100.0

G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選び、重要と思う順に1~3位の番号を記入して下さい(第2位)

6,331 人中、肝炎患者(肝硬変・肝癌患者を含む)の医療費・生活支援 1,319 人(20.8%、25.0%)、肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可 2,563 人(40.5%、48.5%)、肝炎相談窓口の充実 300 人(4.7%、5.7%)、ウイルス検査の受診率向上 405 人(6.4%、7.7%)、患者に対しての市町村などの保健指導 166 人(2.6%、3.1%)、専門医療機関とかかりつけ医との連携 517 人(8.2%、9.8%)、その他 14 人(0.2%、0.3%)、不明 4 人(0.1%)、無回答 1,043 人(16.5%)であった。

G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選入 重要と思う順に1~3位の番号を記入して下さい 第2位

選択項目	回答数	頻度	頻度(有効回答の%)
1. 肝炎患者(肝硬変・肝がん患者を含む)の医療費・生活支援	1319	20.8	25.0
2. 肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可	2563	40.5	48.5
3. 肝炎相談窓口の充実	300	4.7	5.7
4. ウイルス検査の受診率向上	405	6.4	7.7
5. 患者に対しての市町村などの保健指導	166	2.6	3.1
6. 専門医療機関とかかりつけ医との連携	517	8.2	9.8
7. その他	14	0.2	0.3
不明	4	0.1	
無回答	1043	16.5	
合計	6331	100.0	100.0

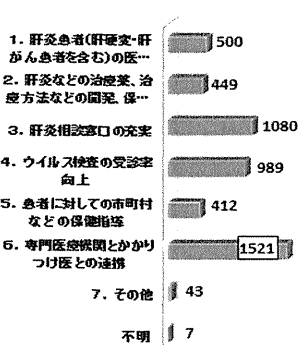


G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選び、重要と思う順に1~3位の番号を記入して下さい (第3位)

6,331人中、肝炎患者(肝硬変・肝癌患者を含む)の医療費・生活支援 500人(7.9%、10.0%)、肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可 449人(7.1%、9.0%)、肝炎相談窓口の充実 1,080人(17.1%、21.6%)、ウイルス検査の受診率向上 989人(15.6%、19.8%)、患者に対しての市町村などの保健指導 412人(6.5%、8.2%)、専門医療機関とかかりつけ医との連携 1,521人(24.0%、30.5%)、その他 43人(0.7%、0.9%)、不明 7人(0.1%)、無回答 1,330人(21.0%)であった。

G-1 国(厚生労働省)の「肝炎対策の推進」で重要と思われるものを3つ選入 重要と思う順に1~3位の番号を記入して下さい 第3位

選択項目	回答数	頻度	頻度(有効回答の%)
1. 肝炎患者(肝硬変・肝がん患者を含む)の医療費・生活支援	500	7.9	10.0
2. 肝炎などの治療費、治療方法などの開発、保険認可	449	7.1	9.0
3. 肝炎相談窓口の充実	1080	17.1	21.6
4. ウイルス検査の受診率向上	989	15.6	19.8
5. 患者に対しての市町村などの保健指導	412	6.5	8.2
6. 専門医療機関とかかりつけ医との連携	1521	24.0	30.5
7. その他	43	0.7	0.9
不明	7	0.1	
無回答	1330	21.0	
合計	6331	100.0	100.0



別紙 3

多様性を有する肝疾患患者さんが抱えている悩みが、どのような環境の元で形成され、どのような因子が関与していたのかを明らかにする為に、下記のような方法で検討した。

6300人アンケート調査から得られた自由記述1412人分のレポートを、まず下記の7つの病態群に分け、さらに病態ごとにテキストマイニングによって4つのリーフに分類する。ひとつのリーフには、悩み【なし】【あり】と、それぞれの2つのグループがあることから、最終的に56群に分類する。

これらの方法により、同じような病状・同じような環境下で生活してきた肝疾患患者の自由記述、肝疾患患者の悩み等がどのように書かれているのか、コンパクトに参照することが可能となる。

7つの病態とは、以下のとおり。

B型軽症群 (CR/CH)

B型重症群 (LC/HCC)

C型軽症群 (CR/CH)

C型重症群 (LC/HCC)

その他疾患 (B型/C型を除く) の軽症群 (CR/CH)

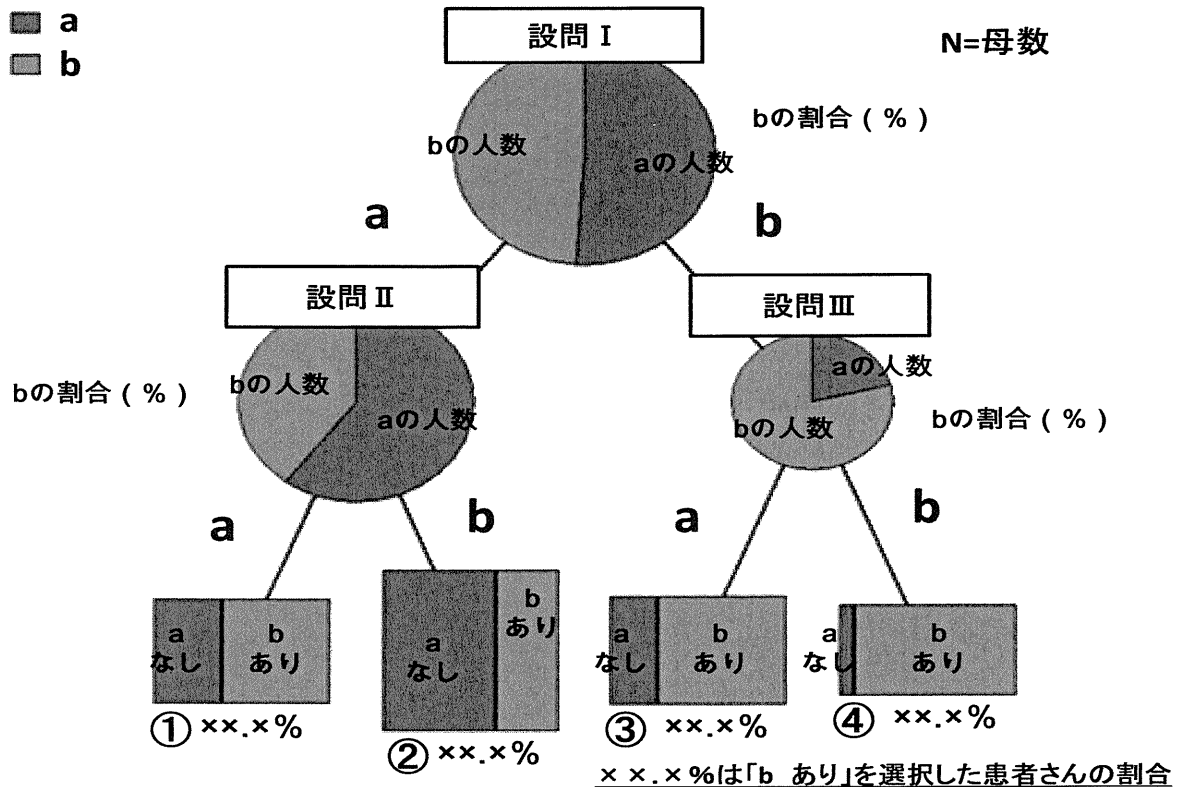
その他疾患 (B型/C型を除く) の重症群 (LC/HCC)

C型・ウィルス駆除群

※ CR=キャリア、CH=慢性肝炎、LC=肝硬変、HCC=肝癌

## データマイニング決定木解析結果の読み方、

データマイニング決定木解析とは、肝疾患患者が各設問（設問 I-III）に対して該当する内容を (a, b) と順次選択、アルゴリズムをたどるようにして4つのリーフの中から1つのリーフを選択する。各リーフの中の (a, b) のいずれかを選択することで、①-a から④-b の8つの集団に、どの集団に属しているのかを見極める。



【変数 I = a かつ変数 II = a で「悩みなし」】と回答している場合・・・①-a

【変数 I = a かつ変数 II = a で「悩みあり」】と回答している場合・・・①-b

【変数 I = a かつ変数 II = b で「悩みなし」】と回答している場合・・・②-a

【変数 I = a かつ変数 II = b で「悩みあり」】と回答している場合・・・②-b

【変数 I = b かつ変数 III = a で「悩みなし」】と回答している場合・・・③-a

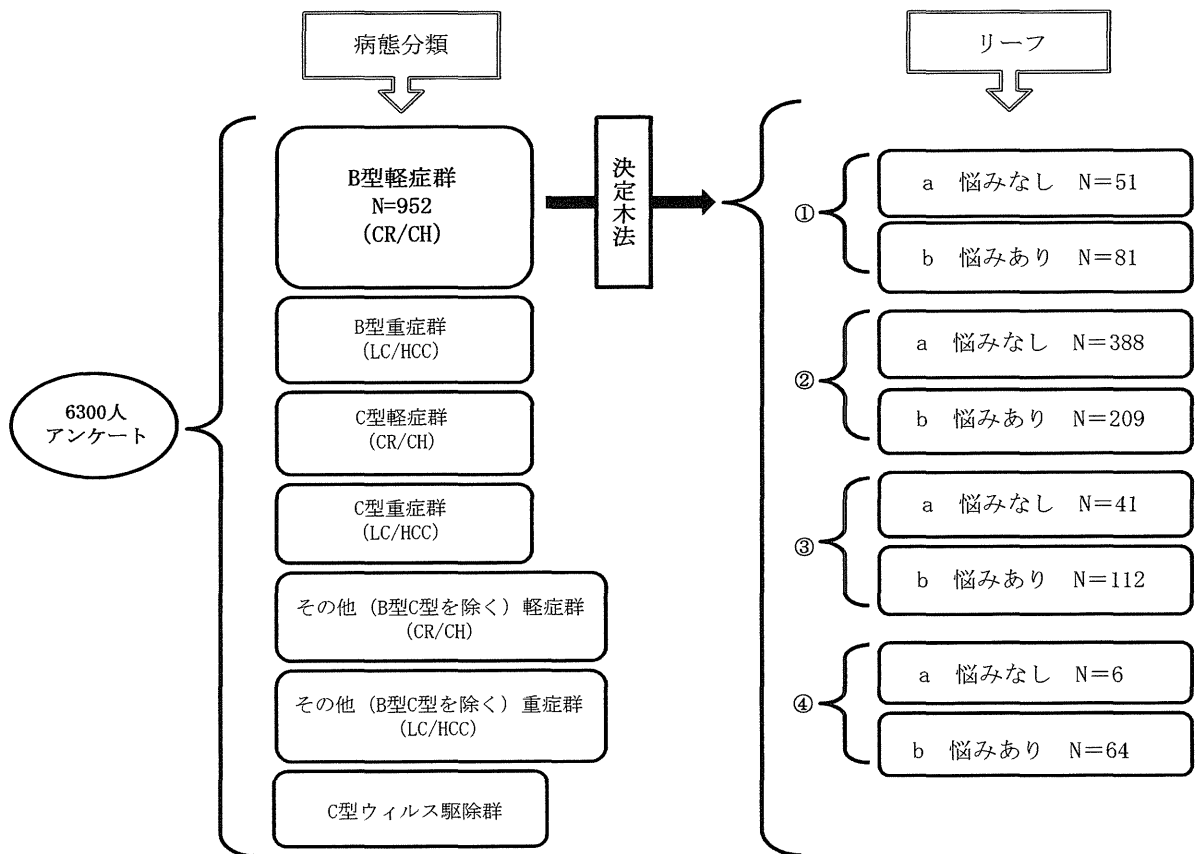
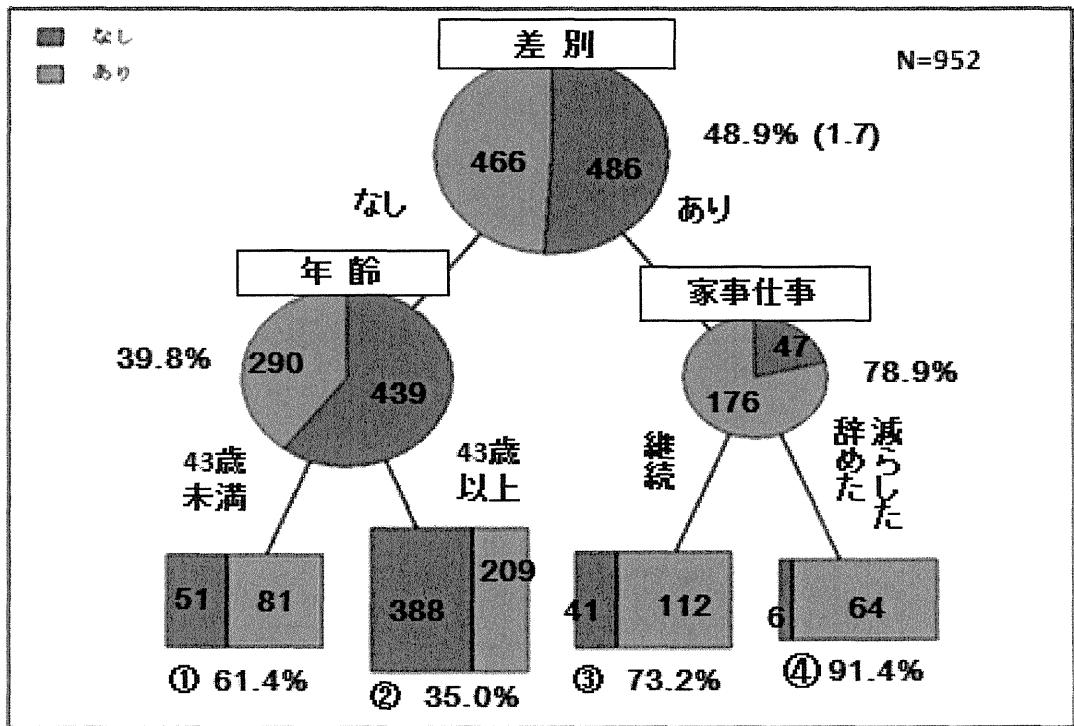
【変数 I = b かつ変数 III = a で「悩みあり」】と回答している場合・・・③-b

【変数 I = b かつ変数 III = b で「悩みなし」】と回答している場合・・・④-a

【変数 I = b かつ変数 III = b で「悩みあり」】と回答している場合・・・④-b



# 《 B型軽症 (CR/CH) 》



F11 「日常生活で、肝臓病を患っていることによる悩みやストレスはありますか。」の設問に対して「ある」もしくは「ない」と選択した肝疾患患者の特徴を把握した上で、患者自由記述について参照、考察する為に、まず肝疾患患者を下記の7の病態に区分した。

F11-1 B型軽症群 (CR/CH) 自由記述 全 34 ページ

【 目 次 】

\* ( ) 内、記述件数/患者数

①の中の「悩みなし」 . . . . . 1 P	(4 件/n=51)
①の中の「悩みあり」 . . . . . 2 P~ 4 P	(29 件/n=81)
②の中の「悩みなし」 . . . . . 5 P~ 1 0 P	(68 件/n=388)
②の中の「悩みあり」 . . . . . 1 1 P~ 1 6 P	(61 件/n=209)
③の中の「悩みなし」 . . . . . 1 7 P~ 1 9 P	(32 件/n=41)
③の中の「悩みあり」 . . . . . 2 0 P~ 2 7 P	(84 件/n=112)
④の中の「悩みなし」 . . . . . 2 8 P	(5 件/n=6)
④の中の「悩みあり」 . . . . . 2 9 P~ 3 4 P	(53 件/n=64)

F11 B型軽症群-①悩みなし

【B1032】 20代 女性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みなし、差別経験なし。家族内感染  
20代前半に慢性B型肝炎と診断され、ずっと治療を続けているが、すぐに治るものじゃないとわかっていても、いつになったら治療が完了するのか…先行きが不安です。相談する機会や交流の場などの話も聞かぬが、なかなか自分の事なのに興味がわからない。どうしても参加者が高齢の方が多様な気がして。

【B1063】 30代 男性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みなし、差別経験なし。感染原不明  
B型感染であることを知ってから、現在までの約10年はものすごく長く、日に日に自分の中で激しい葛藤との戦いであった。運よく、現在は落ち着いてはいるものの、一生ものの病気であることには変わりはないと考えざるを得ないことがとても悲しい。日常生活において、相手への感染の可能性が頭を悩ませ苦しむことも多々ある。肝臓病に限ったことではないが、私の国に希望することとして、悩みを次の世代には残さない徹底した姿勢を示してもらいたいと考える。

【B214】 30代 男性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みなし、差別経験なし。家族内感染  
ストレスには感じてないが、ウイルス性肝炎を認知してから結婚について消極的になりがちになった。献血に協力出来ない姿を他人に指摘されるのではないかと目線が気になる。病気への偏見はいまだにあると感じます。特にウイルス性肝炎に関してはニュース等で報道されてきた経緯があり、他人にかわいそうだと捉えられるのは、気になります。病気についての世間の正しい理解を得られるようなことをして欲しいです。

【B847】 30代 女性……慢性肝炎。家事仕事は減辞、悩みなし、差別経験なし。家族内感染  
私自身、母からの母子感染です。母も母子感染でした。母の代の頃は注射針での感染だったと言っています。確実な証しがなく、訴訟までに行きつくスタートラインにもたっておりません。お金が欲しくて言うわけではありませんが、どこからどこまでが信頼してもらえて、どこからどこまでの証拠が却下されるのでしょうか。私自身、今まで(10年くらい)でたくさんお金を費やしてきました。今は数値が落ち着いてきていますが、まだ血液中のウイルス量が高く、これからも通院と、この病気につきまといながら生活をしていく事になります。こういう場合も、国からの援助がなく、この状態で死ぬまでいくのでしょうか？訴訟をしてお金を得ても、自分の病気を世の中にさらけ出す形になるので、そこまではしたくありません。この先も、あまり変わることなく、進んでいくのでしょうか。このアンケートで少しでも状況が良い方へ変わる事を深く望んでいます。

F11 B型軽症群-①悩みあり

【B1050】30代 男性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みあり、差別経験なし。家族内感染肝炎の助成制度の自己負担額が多すぎる。母親がなくなり、母子感染か集団予防接種による感染かわからない為、訴訟を起こす事もできない。現在は慢性肝炎で、投薬はしていないが血液検査や診察代が高い。助成制度をもっと見直して欲しい。

【B1133】30代 女性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みあり、差別経験なし。感染原不明慢性肝炎が完璧に治る薬が欲しいです。宜しく願います。先が不安です。

【B1141】20代 女性……キャリア。家事仕事は継続、悩みあり、差別経験なし。家族内感染2人の幼児を持ちながらの受診は費用が負担になります。幼児のようにお金が返ってくれば多少助かりますが、払っぱなしでは、いつまで払い続けなければならないのだろうと思ってしまいます。受診しているだけで、良くも悪くもならないので、途中で通院をやめてもいいのではと思う事もあります。通院、受診の方にも受給制度があったらと毎回思います。

【B1184】20代 男性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みあり、差別経験なし。家族内感染治療に参加したいが、毎週指定病院への通院と負担が大きいのではなかなか参加できない。働きながら治療してる人はほとんど参加できないのでは。B型肝炎は、治療の幅が少ないのでC型肝炎薬の流用など早期対策を求める。

【B1222】30代 男性……慢性肝炎。家事仕事は減辞、悩みあり、差別経験なし。感染原不明病院への通院で時間がとられ、お金の負担もあり、仕事もなんとか気力で出来ている状態です。まだ子供にもお金がかかる時期でもあり、身体が辛くても何とか働かなければ、という想いと気力だけで頑張っています。人はいつか死にますが、両親・兄弟・家族・親戚・いとこ等、20~30人いる中で自分だけが肝臓病だと、国の不備で広まった病気では、と疑問です。助成制度があるのはありがたいですが、医療受給者証をもらうのに、役所に出向いたり書類を作成したりと、これももっと簡素化してもらわなければ負担です。

【B124】40代 男性……慢性肝炎。家事仕事は減辞、悩みあり、差別経験なし。感染原不明肝炎の助成制度があることを知らず、1年半程実費で支払っていました。過去に遡っての払い戻しはできないということでした。現在も知らずに支払い続けている方もおられるかと思えます。弱者救済の為にも、この事の告知、開示等を徹底して頂きたいと思えます。

【B1241】30代 女性……慢性肝炎。家事仕事は減辞、悩みあり、差別経験なし。家族内感染助成制度ができ、家計は大変助かっています。ですが、受給者証を受付窓口へ提出する際、大きいのでひとめで肝炎患者だとわかってしまうのは、毎回ストレスでもあります。口座に振り込んで頂く名目が「カンエン」というのもおかしいと思えます。もう少しプライバシーに配慮して欲しいです。更新手続きも毎年大変です。大阪府の肝炎核酸アナログ製剤治療受給者のしおりですが、有効期間内に治療が完了しなかったとき、更新の申請手順が記載されていますが、バラクールドは飲み続けなければならないのに治療が完了しない・・と書かないで頂きたいです。小さなことですが、傷つきました。先生に、いつも優しく、おだやかに肝炎のことを御指導頂き、とても感謝しています。一つ不安があるとしたら、子供や義理の両親、子供の結婚相手にはどう説明していけば良いのか、ということです。今はとても落ち着いているけれど、突然癌になったらとも思えます。良い薬ができることを強く望みます。

【B1274】30代 女性……キャリア。家事仕事は継続、悩みあり、差別経験なし。家族内感染核酸アナログ製剤の治療費助成の申請をしました。役所やら医師の証明書を揃えるのに時間と費用がかかりましたが、私の場合は実質2カ月で7000円位です。助成とは名ばかりで役にたつ制度とは思えません。患者の側に立った有効な制度を考えて欲しいと感じました。しかも、更新は毎年、初回と同じ書類の提出が必要です。1~2年で治る病気ではないので、更新はもっと簡素化出来ないものかと、民間と役所の感覚のズレをみました。医師の説明では「バラクールド」は途中で中止はできず一生飲み続けなければならないとのこと。このまま何の助成も受けられないのかと思うと気が重くなります。血の通った実のある助成を願うばかりです。

【B1285】30代 男性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みあり、差別経験なし。説明がない慢性肝炎と同時に脳出血を発病し、色々悩みながら、今の状況など考えています。でも良い先生に巡りあえましたし、一日でも長く生きたいと思えます。

【B1312】30代 女性……慢性肝炎。家事仕事は継続、悩みあり、差別経験なし。家族内感染30代前半で慢性肝炎の診断を受けました。以前は肝炎の知識はありませんでしたが、自分がB型キャリアであることは知っていました。それでも、普通に生活する上で何か問題があるという認識はありませんでした。しかし、診断後、まず肝炎の治療費の高さに驚き、また、性感染症であるということから恋愛や結婚について、積極的になれなくなりました。ワクチンを接種すれば相手に感染することはないとわかっていても、その後の病状によっては相手の方に多大な迷惑をかけてしまうこととなります。希望としては治療費が安くなるということですが、社会状況からみても、容易に期待できることではないので、せめて家族の負担にならないようにと心がけています。